



病む人の立場に立って

安全でより質の高い医療を提供します



基本方針

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1 病める人の尊厳と権利を守る医療の推進 | 4 拠点病院としての役割の強化 |
| 2 地域医療機関との連携と役割分担 | 5 研修・教育・研究の推進 |
| 3 高度医療の実践と救急医療の充実 | 6 安定した医療を提供する基盤の確立 |

患者さんの権利

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| ○個人の人格を尊重した診療を受ける権利 | ○納得のいく説明を受ける権利 |
| ○信頼に基づく医療を受ける権利 | ○診療録の開示を求める権利 |
| ○個人情報保護の権利 | ○検査・治療法などの選択あるいは拒否をする権利 |
| ○診療情報提供を受ける権利 | |

お願い

- | | |
|-----------------------------------|---|
| ○病気に関する正確な情報を医療者（医師・看護師等）にお伝え下さい。 | ○災害時あらゆる危険から回避するため、職員との連携にご協力をお願いいたします。 |
|-----------------------------------|---|

もくじ

巻頭言	2	トピックス	5
ドクターよもやま話	3	医療最前線	6
新任医師紹介	3	連携医紹介	7
職場紹介	4	外来診療担当表	8

巻頭 言



事務部長
下中 直実

新たなステージに向けて



「弥生」3月、いよいよ草木が芽吹くころ。昔懐かしい「早春賦」の歌を覚えていらっしゃいますか。「♪春は名のみ 風の寒さや 谷の鶯 歌は思えど 時にあらずと 声も立てず…♪」春はまだまだ浅いのですが、街路には春を告げるハクモクレンの純白の花。ハスの花にも似てとても清楚で、やさしい香りが漂います。これに遅れてなるものかと桜が続き、そして、世の中は間もなく平成から新たな元号へ移って行きます。

さて、当院では1月末に病院機能評価の訪問審査を受けました。この評価は、医療の質と安全の向上を目的として、第三者機関が中立の立場で実施し、病院の質改善活動を支援するものです。平成11年に初回の認定を受けてから今回で5回目の更新となりますが、当初と比べると審査の仕方は随分様変わりしています。評価のポイントも増え多岐にわたっていますが、その根幹を成すのは「患者さん本位の良質な医療」であり不変です。まさに「病む人の立場に立って、安全でより質の高い医療を提供します」という当院の理念に立ち返って、病院全体を見渡し

ラッシュアップする良い機会となりました。

医療の現場では、いち早く問題に気づき対処することが肝心ですが、医療の質改善においても同様です。この「気づき」は、適切な医療や業務改善を行うきっかけとなる重要な姿勢です。逆に、物事に注意を払わない、気にかけていない「無関心」はあってはならないことです。余談になりますが、日光東照宮の三猿は「(礼節に背くことは)見ざる・聞かざる・言わざる」ですが、埼玉県秩父神社には「お元気三猿」といって「よく見て・よく聞いて・よく話す」という、医療者にもピッタリ(観(診)る・聴く・説明する)の彫り物があります。

当院は創設から140年余の歴史を積み上げて来ました。継続は力なりですが、その上にあぐらをかくことなく不断の改善が必要です。さらに、急激な社会の変化や医療の進化に適切かつ柔軟に対応していくことが求められています。そして、地域医療構想において策定した「公的医療機関等2025プラン」も踏まえ、当院に求められる役割・機能を十分発揮していく使命があります。加えて、建物は30年を経過し建替を検討する時期に来ています。次のステージでは、30年、40年先を見据えつつ、ソフト面と併せてハード面をどうしていくか、大きな変革の時期を迎えます。

今後も、地域の皆さまから信頼され、安全で質の高い医療を継続的・安定的に提供していくために、貴重なご意見をいただきながら改善に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

春は旅立ちの季節。別れがあれば出会いもあります。高校の卒業式での白線流しが懐かしく思い出されます。ちょっぴり寂しいものですが、それぞれ、また新たなステージに向かって旅立ちます。お世話になった方々に感謝申し上げ、好きな言葉を贈らせていただきます。



ドクター よもやま話

PICU…



救急集中治療科
荒川 立郎



ICUではなく、NICUでもなくPICU (Pediatric Intensive Care Unit) の話です。先に言っておきますが当院にはPICUはありません。医師の中でさえPICUと聞いてピンとこない人もいますが、自分自身2016年度～2年間都内のPICUで研修を行った経験もあり、ご紹介させていただきます。PICUとは、小児集中治療室のことであり、およそ乳児から16才未満の小児重症患者を受け入れる集中治療室のことです。小児重症患者の管理を大人診療と同じように行うことは難しく、その診療に特化した人材や体制が必要となり、様々な条件を満たし

たPICUが作られ、現在では全国に広がっています。

愛知県のPICU事情をお話し致しますと、人口から予測された必要PICUベッド数は26床と言われます。以前まで名古屋第二赤十字病院2床、名古屋市立大病院4床のみにPICUがありました。2016年2月から愛知小児総合医療センター16床が設置され、おおよそ必要なベッド数が確保されてきています。ちなみに私は、月に数回程度愛知小児総合医療センター救急部で診療させて頂いておりPICU回診に参加するのですが、常に満床に近い患者が収容されており、その必要性を実感しております。

現在の小児重症患者診療において重症度の高い小児の入院加療ができない施設では、速やかにPICUのある施設に搬送することが必要とされています。当院でも重症度が高く必要性がある患者がいれば、小児科医と連携してPICUのある施設への搬送することもあります。私も少なからず小児重症患者の診療に携わるものとして、最後の砦であるPICUの存在を十分に認識し、小児診療に関わりたいと思っております。



新任紹介



専修医

整形外科専修医 家崎 雄介

1月から整形外科に赴任しました家崎雄介と申します。以前は名古屋第二赤十字病院で勤務しておりました。ご迷惑をおかけするかと思っておりますが、宜しくお願い致します。



臨床検査科

統括診療部 臨床検査科 副臨床検査技師長
浅香 敏之

臨床検査科は医師2名と臨床検査技師40名で構成され、年間600万件に及ぶ臨床検査を実施して医療を支えています。臨床検査科の業務は外来中央採血室での採血、患者様より採取した検体を分析する検体検査（生化学、血液、一般検査）、適正な輸血のための輸血検査、顕微鏡等を用いてがんや感染症を判定する形態学的検査（病理、細菌検査）、心電図や超音波検査など患者様の体の機能を検査する生理検査があります。近年はゲノム医療の発展と

もに遺伝子検査も実施しています。臨床検査の精度管理が叫ばれる中、平成30年12月には精度管理に関する法律が公布されました。当科の対応は病院機能評価でも高く評価されています。国際的な精度管理認証制度であるISO15189の認定継続にかかる更新審査を終え、引き続き精度の高い安定した検査結果を患者様に提供します。さらに臨床検査の専門的な認定資格を積極的に取得し、検査データの付加価値を高めています。臨床検査科のスタッフは24時間体制で臨床支援を行い「診療における縁の下の力持ち」としてこれからも医療に貢献します。



外来2階

外来2階看護師は、内科的診療科8科、精神科、脳神経外科、内視鏡室、外来化学療法室、専門外来（HIV感染症）に携わっています。その中で、慢性的な病気である糖尿病や心不全には慢性専門看護師、内視鏡室には内視鏡技師資格を持った看護師、化学療法室にはがん化学療法認定看護師、専門外来にはHIVコーディネーターナースがそれぞれ専門的知識で患者さんの個々のお悩みや不安に対応しています。小さなことでもかまいません、お近くのスタッフに声をかけていただければ各専門の看護師におつなぎします。また、ご自宅で安心して過ごせるよう地域の開業医さんや訪問看護ステーション、ケアマネージャーさん方

との連携にも力を入れています。今後も、病院理念である「病む人の立場に立って」のもと、よりよい看護の提供ができるよう努めてまいります。



トピックス

認定看護師の紹介

乳がん看護認定看護師

前田 純

乳がんは女性のがん罹患率1位であり、年々増加傾向です。乳がんはライフサイクルの上で多様な役割をもつ年代に多く、仕事や家庭のことをはじめ心理社会的負担が大きいとされています。乳がんの治療には外見の変化を伴い、治療方法には選



択肢があるため、患者さん自身が治療の内容を理解し意思決定する必要があります。患者さんが納得して治療を選択することは、病気をうけとめることを促進し、治療に伴う苦痛や病状変化への適応に効果があるとされています。乳がん看護認定看護師は、治療前後の心のケアや退院後の生活に向けて必要な情報を提供し、少しでも生活しやすくなるように病棟スタッフと共に看護を提供しています。また、乳腺外科外来と連携し、手術前の乳がん患者さんや術後補助化学療法を受ける患者さんと面談を通し、治療前の不安や悩みへの支援、術後の心のつらさや治療に伴う様々な問題（乳房整形の方法や再建の相談、子供との関わり方や仕事との両立等々）の支援をしています。

乳がん罹患し誰にも相談できず一人で悩んでいる乳がん患者さんは非常に多いです。「こんなこと相談してもいいのだろうか」と一人で悩みを抱えこまず、遠慮なくご相談ください。

がん性疼痛看護認定看護師

松野 英美・花木 佳子・元木 瑞寿栄

現在の日本は、2人に1人はがんを患う時代と言われています。そしてがんを抱えながら生活をされている方が大勢みえます。がん患者さんはがんと診断されてから、手術や化学療法、放射線治療や対症療法など様々な治療を受けられたり、その時々で治療方針などを決定していく場面に何度も直面する事が多くなります。そして、それに伴う体や心の辛さを抱えている方が大勢みえ、病院で相談しづらいと思われる仕事やお金の悩みを抱えている方もみえます。

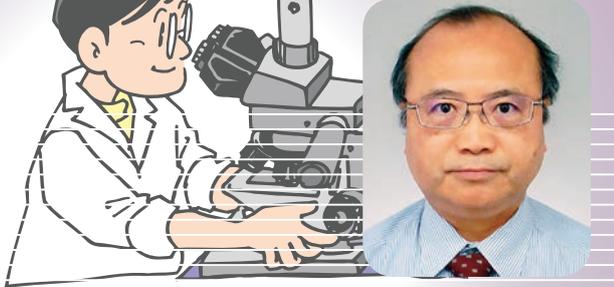
私たち3人は、緩和ケアチーム、相談支援センター、病棟にそれぞれ所属しています。所属している場所は異なりますが、患者さんやご家族の前述したような病気や様々な治療による体の辛さだけでなく、心の辛さを少しでも緩和し、生活の質(QOL)を保持できるように日々努めています。そして患者さんやご家族を多職種で支えていけるように、私た

ち認定看護師間や治療に携わる病棟・外来の看護師、医師、薬剤師、栄養士、ケースワーカーなどの様々な職種と連携を図り情報共有をしています。患者さんやご家族を支える資源となれるよう、今後もそれぞれが看護技術やケアを磨いていくと同時に、多職種と連携を図りチーム全体で関わられるように努力していきたくと思っています。



医療最前線

膠原病内科医として、いかに免疫チェックポイント阻害薬による副作用に対応すべきか



膠原病内科・リウマチ科
片山 雅夫

主な用語：

ICI：免疫チェックポイント阻害薬 (immune check-point inhibitors)

irAE：免疫関連有害事象 (immune-related adverse events)

肺がんなど悪性腫瘍に免疫チェックポイント阻害薬 (immune check-point inhibitors: ICI、表1) が使用されるようになり、がんに対する免疫療法は大きく変化しています。しかし、その副作用として、

皮膚・肺・消化管・内分泌腺など様々な臓器に自己免疫性炎症による副作用が知られるようになりました。それらの副作用を免疫関連有害事象 (immune-related adverse events: irAE) と呼びます。これらのICIによって引き起こされるirAEは、表2に示すように、全身の臓器に渡っています。

irAEが生じやすいリスク因子として、自己免疫疾患の既往、irAEの既往が挙げられます。自己免疫疾患の合併がある場合や活動性の有無、あるいは原病に対する治療の有無などで未だ不明な点もありますが、ICIに対するirAEの発現に影響を与えている可能性がわかってきています。

自己免疫疾患の既往例では再燃や新規irAE発現がみられますが、治療としては副腎皮質ステロイドで対応できることが多いのですが、ICIの中止にいたる例もみられます。また、irAEによる死亡例もあることから十分な注意が必要です。早期に診断し、適切にマネジメントすることが重要であり、膠原病内科医として、その一端を担うようICIの副作用やirAEへの対応について精通する必要があると考えます。また、患者ご本人に対してもインフォームドコンセントを十分に行い、原病の悪化や多種にわたるirAEが起きうることをご理解していただきながら、注意し慎重にフォローしていくことが必要です。

表1. 免疫チェックポイント阻害薬 (ICI) の種類

作用機序	一般名 (商品名)
抗PD-1抗体	ニボルマブ (オプジーボ)
	ペムブロリズマブ (キイトルーダ)
抗CTLA-4抗体	イピリムマブ (ヤーボイ)
抗PD-L1抗体	アベルマブ (バベンチオ)
	アテゾリズマブ (テセントリク)
	デュルバルマブ (イミフィンジ)

表2. 免疫関連有害事象 (immune-related adverse events: irAE)

臓器	副作用の例
皮膚	発疹、掻痒、乾癬、白斑
呼吸器	間質性肺炎、乾性咳嗽、頻呼吸、呼吸困難
消化器	大腸炎、胃炎、膵炎
肝・胆道系	肝障害、肝炎
内分泌腺	甲状腺炎、下垂体炎、副腎不全、糖尿病
神経系	神経障害、ギランバレー症候群、骨髄炎、髄膜炎、脳炎、重症筋無力症
筋・骨格系	筋炎、関節炎
腎臓	腎炎・間質性腎炎
眼	ブドウ膜炎、結膜炎、強膜炎、上強膜炎



院長 木村 恭祐

きむら泌尿器・腎臓内科クリニック

名古屋医療センター泌尿器科に在職中はお世話になりました。当院は平成30年4月、名古屋市と北名古屋市の市境に泌尿器科専門クリニックとして開院しました。『やさしい医療を目指すこと』を理念とし、地域の皆様が気を遣わず安心して何でも相談頂けるよう『親切・丁寧・気持ちを込めて』対応するクリニックを目指しています。

泌尿器疾患を代表する前立腺肥大・過活動膀胱・尿路結石の診断治療をはじめ、各種日帰り手術を行っています。また、泌尿器がん(前立腺がん・膀胱がんなど)の早期発見にも力を入れております。特に勤務医時代より研究をしてきました前立腺がんに関しては、PSA検査やMRI検査を積極的に行い、異常を認める患者さまには日帰りで前立腺組織検査を施行しております。悪性を認めた場合は、治療



『やさしい講話』の様子



の選択や予後に関し、丁寧に時間をかけて看護師と共に説明しております。

名古屋医療センター泌尿器科科長である吉野能先生とは密接に連携しており、ご紹介した患者さまの治療方針や手術日程等をご報告いただけるため、術後に訪問しております。このように連携することで、患者さまが安心して当院で経過観察ができる環境を整えることができております。

また、尿失禁や骨盤臓器脱などの疾患に対しては、薬物療法はもちろんのこと、磁気刺激や干渉低周波を用いた治療機器を取り入れ、積極的に治療に取り組んでおります。手術療法が適応する場合は、東名古屋病院泌尿器科の岡村菊夫医長にご紹介し連携しています。そのほか、小児泌尿器科として夜尿症の生活指導や薬物療法、また、腎臓移植認定医として慢性腎臓病(CKD)の早期診断や管理も行っております。

診療以外にも、病気をわかりやすくお話しする『やさしい講話』(写真は脳外科Drから説明)を開催し、地域の皆様との交流を大切にしております。今後も、スタッフ一同がやさしい医療を目指し、地域に貢献できるよう努めてまいります。

きむら泌尿器・腎臓内科クリニック

所在地：〒481-0012 北名古屋市久地野北浦98-1

電話：0568-27-3788

診療科目：泌尿器科・腎臓内科・女性泌尿器科・小児泌尿器科

URL：<http://www.kimura-uro-clinic.com>

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
午後4:00~7:00	○	○	○	×	○	×

休診日：木曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝日

外来診療担当表

平成31年3月1日現在

Table with columns for 診療科 (Department), 月 (Monday), 火 (Tuesday), 水 (Wednesday), 木 (Thursday), 金 (Friday). Rows include 消化器内科, 呼吸器内科, 循環器内科, 糖尿病・内分泌内科, 膠原病内科リウマチ科, 腎臓内科, 脳神経内科, 総合内科.

Table with columns for 禁煙外来 (2階), 緩和ケア科 (2階), 腫瘍内科 (2階).

Table for 内視鏡室 (2階) with columns for 消化器 (Gastroenterology) and 呼吸器 (Respiratory).

Table for 精神科 (2階) with columns for 1診, 2診, 3診, 4診.

Table for 脳神経外科 (2階) with columns for 1診, 2診, 3診.

Table for 外科 (1階) with columns for 1診, 2診, 3診, 4診, 5診, 特別診察室.

※外来受付時間... 〇初診/午前8時30分~午前11時... 〇再診/午前8時20分~午前11時... 〇休診日 土曜、日曜、祝日、年末年始(12/29~1/3)...

Table with columns for 診療科 (Department), 月 (Monday), 火 (Tuesday), 水 (Wednesday), 木 (Thursday), 金 (Friday). Rows include 整形外科 (1階), 皮膚科 (3階).

Table for 皮膚科 (3階) with columns for 1診, 2診, 3診, 4診.

Table for 小児科 (3階) with columns for 午前 (Morning) and 午後 (Afternoon), and rows for 1診, 2診, 3診, 4診.

Table for 遺伝診療科 (2階) with columns for 特別診察, 遺伝(3階)カウンセリング, 看護外来.

Table for 耳鼻いんごう科 頭頸部外科 (3階) with columns for 1診, 2診, 3診, 4診.

Table for 眼科 (3階) with columns for 1診, 2診, 3診, 4診, 5診, 6診.

Table for 産婦人科 (3階) with columns for 1診, 2診.

Table for 泌尿器科 (3階) with columns for 初診, 再診, 再診.

Table for 血液内科 (3階) with columns for 1診, 2診, 3診, LTFU.

Table for 専門外来 (3階) with columns for 1診, 3診.

Table for 歯科口腔外科 (3階) with columns for 初診, 再診, 再診, 再診.

Table for 放射線科 (地下1階) with columns for 初診・再診, 診断, 放射線 (1階), RI/PET, 超音波, 検診.

※LTFU: 造血幹細胞移植後外来